

川之江分団第2部
消防ポンプ自動車（CD-1型）

仕 様 書

1 総 則

- (1) この仕様書は、「四国中央市」（以下「発注者」という。）が購入する川之江分団第2部消防ポンプ自動車（CD-1型）（以下「ポンプ自動車」という。）1台に関する一切について定める。
- (2) ポンプ自動車は、この仕様書の定める事項のほか、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準、その他関係法令等に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。ポンプ自動車は消防用車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満していること。
- (3) ポンプ自動車は、愛媛県陸運支局長の行う新規登録検査合格後に納入すること。なお、新規登録手数料（課税分）は、ポンプ自動車の価格に含むが、新規登録手数料（非課税分）、リサイクル料金、重量税及び自賠責保険に関する費用は別途支払いするものとし、ポンプ自動車の価格の中に含まないこと。
- (4) 受注者は、当仕様書に疑義が生じた場合又は変更を必要とする場合は、事前に発注者に連絡の上、指示又は承認を受けるものとする。また本仕様書に記載されていない事項についても、取扱い上必要と認められる場合には別途協議し変更、製作すること。
- (5) 受注者は、ポンプ自動車の製作に先立ち、次の図面等を2部提出し、事前に承認を受けるものとする。
 - ア 製作工程表
 - イ 製作承認図
外観5面図・艀装外観図・ボックス内艀装図・キャブ内艀装図・車体骨格図
 - ウ 取付品・取付装置並びに積載品・付属品を明記した書類
 - エ ポンプ組立図
 - オ ポンプ配管系統図
 - カ 電気配線図
 - キ その他、発注者が必要とする図面
- (6) 受注者は、ポンプ自動車の製作にあたり事前に発注者と十分に連絡調整し、遺漏のないように注意するものとする。
- (7) 受注者は、ポンプ自動車納入時に次の書類及びその写しを提出すること。
 - ア 製作工程表
 - イ 製作承認図
 - ウ 工程写真（データ含む）
各製作工程（シャシ、組立中、完成）
試験実施工程（重量測定検査、車両安定傾斜角度測定検査（計算書でも可）、悪路走行検査）
 - エ 計量証明書
 - オ ポンプパーツリスト
 - カ 受託評価合格プレート写し
 - キ ポンプ等性能検査結果表（放水検査）
 - ク シャシ取扱説明書
 - ケ ポンプ取扱説明書

- コ 装備品及び付属品の説明書及び保証書
- サ 装備品及び付属品の検査書、検定合格書又は証明書
- シ 自動車検査証
- ス 緊急自動車の指定証及び届出確認証
- セ 納品書及び納品内訳書
- ソ その他、発注者が必要とする図書

※ 上記書類は、エイナーファイル等にそれぞれ分類し綴じること。

(8) ポンプ自動車の保証期間は、納入後1年間とする。ただし、メーカーによる保証期間が1年を超えるものにあつては、メーカーの定める保証期間によること。また保証期間終了後において、設計不良、製作不良、材料不良等に起因する不具合が発生した場合には、受注者の責任において交換または修理を行うこと。なお、交換または修理に係る全ての費用は受注者の負担とする。

(9) ポンプ自動車のナンバープレートは、発注者が希望するナンバーを取得すること。

2 シャシ

ポンプ自動車に使用するシャシは、令和7年もしくは令和8年消防検定に合格品として公表したダブルキャブオーバーの消防専用シャシとする。

この仕様書において指定したもの以外の装備品については、消防専用シャシとしてメーカーが公表した標準取付品が装備されていること。

(1) シャシ主要諸元

ア 規格

- | | |
|---------------|----------------------|
| (ア) 型式 | 3 t 級消防専用ダブルキャブオーバー型 |
| (イ) 駆動方式 | 2 輪駆動 |
| (ウ) ホイルベース | 2.0m以上 2.85m以下 |
| (エ) 最小回転半径 | 6.0m以下 |
| (オ) トランスミッション | オートマチック (AT) |

イ エンジン型式

- | | |
|------------------|------------|
| (ア) ディーゼルトーボエンジン | |
| (イ) 排気量 | 2,000cc 以上 |

ウ 装備品

- | | |
|----------------------------|-----------|
| (ア) バッテリー | メーカー最大とする |
| (イ) オルタネータ | メーカー最大とする |
| (ウ) エンジン回転計 | |
| (エ) エンジン油温計 | |
| (オ) エンジン水温計 | |
| (カ) エンジン油圧警告灯 | |
| (キ) エンジンアワーメータ | |
| (ク) フルパワーP.T.O | |
| (ケ) オイルパンヒーター (延長コード付) | |
| (コ) バッテリー管理装置 (延長コード 10m付) | |

※(ケ)及び(コ)は可能であれば兼用とすること。

(サ)	チルト装置	電動油圧チルト装置
(シ)	エアバック	運転席・助手席
(ス)	ラジオ	AM/FM(デジタル時計付)
(セ)	純正エアコン	
(ソ)	サンバイザー	運転席・助手席
(タ)	ドライブレコーダー	フロントガラス
(チ)	サイドバイザー	全ドア
(ツ)	ドアミラー	電動格納式(メッキ仕様)
(テ)	ウィンドウ	パワーウィンドウ(全席)
(ト)	ドアロック	集中式ドアロック
(ナ)	ディスチャージまたはLEDヘッドライト	
(ニ)	フォグランプ	
(ヌ)	後退警報機	シャシ純正
(ネ)	けん引フック	前・後部
(ノ)	フロアマット	前・後部
(ハ)	オールシーズンタイヤ又はスタッドレスタイヤ	6本
(ヒ)	予備タイヤ	1本(ホイール付)
(フ)	タイヤチェーン	全輪
(ヘ)	泥除け、たれゴム	全輪
(ホ)	標準工具	一式
(マ)	オイルジャッキ	一式
(ミ)	ドライブレコーダー	前後
(ム)	バックミラー型バックモニター	一式
(メ)	三角表示板	1個

3 ポンプ自動車の構造及び艤装

(1) 一般事項

ア ポンプ自動車の寸法及び重量は、次のとおりとする。

- (ア) 全長 5,750mm 以下
- (イ) 全幅 1,950mm 以下
- (ウ) 全高 2,550mm 以下
- (エ) 重量 4,990kg 以下

イ キャブは、ダブルキャブ4枚ドア付で、定員は前席3名・後席3名を確保し、後部ボデー内を含め乗車定員を10名以上とする。

ウ キャブは、電動式チルト装置で、故障時は手動でチルトできるものとし、必要により落下防止の支え棒等を設けること。

エ 艤装は、総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して製作すること。

オ 車体に設けるステップ、ブラケット、手すり、握り棒等の取付け部分には十分な補強を設けること。

- カ 艀装は、全般にわたり防錆、防水及び耐久性を考慮して製作すること。
- キ ボックス内、フェンダー内側等には袋ナットを使用するなどし、接触による怪我を防止する措置を施すこと。
- ク 接合部分のある箇所には、パッキン等を用いて有効な防水措置を施すこと。コーキング及びシーリング類は弾力性のあるものを使用すること。
- ケ 各種ハンドル、レバー及びスイッチ類には名称、開閉方向が明確に識別できるプレートを取付けること。なお夜間作業時にも容易に視認できるよう、LED計器灯を必要数、適切な位置に取付けること。(別途協議)
- コ レバー及びスイッチ類が損傷する恐れがある箇所には、保護枠を設けること。
- サ 車両の重要な点検整備箇所に関して点検口及び点検扉を設け、工具類を使用する際のスペースを確保すること。
- シ 資機材の積載及び出し入りにより損傷する恐れがある箇所には、アルミ板またはステンレス板を用い補強すること。
- ス バッテリーは、点検等が容易にできるよう引き出し式の構造とし、ロックはワンタッチ式とすること。
- セ キャブ内の適切な位置に AC/DC インバーター (1,000W 以上) を取付け、車内及び車外に AC100V コンセント (2 口) を銘板付きで設けること。なお車外については、防水仕様とすること。(取付け位置については別途協議)
- ソ 後輪照明灯 (保護枠付) を左右に取付けること。ただし、後輪照明灯が強化プラスチック製の場合は、保護枠を不要とする。
- タ 各ステップには、必要に応じて滑り止めの加工を施すこと。
- チ キャブの乗降口及びフェンダー部には、アルミ製縞鋼板を張ること。
- ツ 燃料タンクは、積載品を移動することなく安全かつ容易に給油できる位置に設け、給油口付近には燃料名称を表示すること。
- テ 配線方法については、配線が露出することがないように処理を行い、貫通部分及び配線止めには緩衝材を用いて損傷を防止すること。また配線等を敷設する際は、損傷防止のため保護管等を使用すること。

(2) キャブの内装

- ア 運転席付近にバッテリーのメインスイッチを設けること。
- イ 電子サイレンアンプ、スイッチボックス、無線機本体及び各装置スイッチ類は、前席上部のオーバーヘッドコンソール内、若しくはフロントパネルに集約し、操作が容易に行える配置とする。なおスイッチ類には、全て銘板を付するとともに電装品のヒューズは専用ボックスを設け、各名称及び容量を明記すること。
- ウ 電子サイレンアンプは、2スピーカー式とし、出動予告スイッチ・メッセージスイッチを設け、助手席及び運転席から容易に操作できる位置に取付け、エアバック作動時に支障とならないこと。(取付け位置は別途指示する。) スwitch類は体裁よく取付け、標識灯のスイッチは専用スイッチで操作できること。各スイッチ類には、名称及び ON・OFF の表示を記すこと。なお音声合成メッセージについては、現場活動用、火災予防広報メッセージ入りとすること。
- エ 助手席ピラー部にフレキシブル式LEDマップランプを設けること。

- オ 後部座席にLED室内灯を左右取付けること。
- カ 後部座席背面上部にヘルメット、防火衣等の吊り下げフックを5か所程度（補強板付）設けること。
- キ 前席背面部にパイプの手摺を設けること。
- ク 後部座席下は、資機材が収納できる構造とすること。また艤装上、精密機械を収納する場合は台座及び仕切りを設けること。
- ケ 後部座席付近に地図等を収納するボックス（A3パンチング）を設け、取り外しが可能な構造とすること。（取付け位置及びサイズ等は別途協議）
- コ AC100V コンセント（2口）を前後部から容易に使用できる位置に自立式で設けること。
- サ フロントガラスにドライブレコーダーを取り付けること。
- シ バックモニターは常時バックミラーに映る仕様とすること。
- ス 車内シートは防水仕様とすること。

（3）キャブの外観

- ア キャブの前面の適切な位置に消防団章を取付けること。
- イ キャブ上部に散光式赤色警告灯（スピーカー2個内蔵）及び標識灯を取付け、スイッチは別に設けること。
- ウ キャブ前面の適切な位置にLED赤色点滅灯を取付け、スイッチは散光式赤色警告灯と連動すること。
- エ 乗降用の手摺（4個）をキャブ両側面の有効な位置に強固に取付けること。また、ポンプ操法にも配慮した位置を検討すること。
- オ フロント左右にメッキ加工の大型アウターミラーを取付け、左側にはアンダーミラーを取付け、電動格納式とすること。
- カ 各ドアには、雨天時に有効なサイドバイザーを取付けること。
- キ オイルパンヒーターをキャブの有効な位置に設けること。（別途協議）
- ク バッテリー管理装置（延長コード10m付）をキャブの有効な位置に設けること。（別途協議）

※キ及びクは可能であれば兼用とすること。

（4）後部ボデー艤装

- ア ボデー側板は、一般構造用圧延鋼材（SS若しくはSS400）を使用、上端周辺を外側に折り曲げ、各ステップ及び床はアルミ縞鋼板で端部周辺を折り曲げ加工した構造とし、サイドステップは可能な限り後方まで延長すること。またポンプ室天板はアルミ縞鋼板張りとし、点検が容易に行えるよう点検口を設けること。
- イ ポンプ室天井部に収納スペースを3区画設け、ホース、ロードコーン等を収納できる構造とする。両側スペースには展開式ホース枠を装備し65mm×20mホースに応じた幅で合理的に仕切り、中央部は、可動式の手摺を2本設けること。また、アルミ製収納ボックス（ロック付）を製作し、走行中の振動でも移動しないよう配慮すること。

併せて、収納スペース全体を覆うシートカバー（赤色）を丈夫な生地（テント生地等）で製作すること。シートの仕様は容易に脱着が行え、走行中でも舞い上

がらないような工夫を施すこと。(取付け位置及びサイズ等は別途協議)

ウ ボデー両側面中央部にLED作業灯各1個(保護枠付)を取付け、配光性に考慮した配置とすること。

エ 車体後面の適切な位置にLED赤色点滅灯2個(保護枠付)を取付け、スイッチは散光式赤色警告灯と連動すること。

オ 車体上方に昇降しやすいようにアルミ製折畳み足掛けを設けること。

カ 車体後部に部旗の差込装置を2箇所設けること。

キ サーチライト(防水・保護枠付)を車両後部ボデーの右前方に1個(メタルハライド or LED・集光式)、左後部に1個(メタルハライド or LED・拡散式)を設け、電源コードはブラケット等を使用し整理収納できること。なおスイッチは別系統とし、ボデーの適切な位置に保護枠付で設けること。また同ライトは、三脚及びコードリールを使用し、現場照射等で活用できる仕様とすること。

ク 後部ボデー内左右に2名掛折畳み座席をシートベルト付で設置、座席下部には取り外し可能な収納ボックスを設け、走行時の転落防止措置を施すこと。また収納ボックスはすのこを敷き、縁にはトリムシールを施すこと。

ケ 後部ボデーの適切な位置にスタンドパイプ、投光器三脚、コードリール、バール、20型消火器1本、車輪止及びその他付属品を取付けること。

すべての配置がかなわない場合は発注者と別途協議し決定する。

コ ポンプ室上部に後部座席付近を照らす、LED照射灯を設けること。

サ 後部ステップ側板両側に管鎗を取付けること。

シ 後部ボデー側板両側の吸管常設部の空スペースに、65mmホース3本用のホース背負器(シートカバー付)各1器を取付けること。

ス 後部ボデー側板右側に二つ折り梯子を積載すること。(最小高に取付けること。)

セ 後部ボデー側板にとび口2本、消火栓及び水槽補給(菊型)開閉ハンドル各1本を取付けること。また、ポンプ操法に配慮した位置とすること。

ソ 後部ボデー乗降用として、左右側板後面の適切な位置に手摺りを取付けること。

タ 後部ステップ(リアコンビネーションランプガイド付近)の両サイドに車幅灯を設けること。(スモール連動)

チ 後部ステップ下部に剣先スコップを取付けること。

ツ 後部ボデー座席とキャブ内の相互通話用インターホンを防水仕様で設けること。

テ 後部ボデーの適切な位置にAC100Vコンセント(2口)を防水仕様で設けること。

ト ボデー右側面の適切な位置に外部無線機用ボックス(スピーカー埋込式)を設けること。(マイク+スピーカー)

ナ 後部ボデーの適切な位置にドライブレコーダー後方カメラを取り付けること。(取付け位置については別途協議)

4 ポンプ装置

(1) 主ポンプ

ア 型式 A-2級「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」に適合し、日本消防検定協会が実施する受託試験に合格したものであること。ま

た高圧一段ポリュームポンプ、若しくは二段バランスタービンポンプとする。(グランドパッキングが必要であるものはグリス注入式とし、締め付け及び取替えが容易にできる構造とすること。)

イ 性能 放水性能 0.85MPa において 2.0 m³/min 以上 (規格放水性能) 1.4MPa において 1.4 m³/min 以上 (高圧放水性能) であること。

(2) 真空ポンプ

ア 操作は、左右側板に設けた押しボタンスイッチ (タッチパネル可) により、自動的に行われるものとする。なお緊急起動用ボタン又はレバーを右側板に設けること。

イ 性能は吸管外端閉塞において30秒以内に水銀柱 - 85.0kpa/Hg 以上であること。

(3) 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は車体左右に設け、操作員が安全かつ容易にポンプ操作が行えるよう、次の機能を有するものであること。

ア 圧力計及び連成計 (透過光照明灯付) は振動でも針振れが少ない構造とすること。

イ ポンプスロットルは左右対称で、共に右回転でスロットルが上昇すること。

ウ ポンプスロットルは誤作動を防止するため、安全ロック機能を設けること。

エ 表示板の取り付け位置は操作盤の中央付近とし、揚水操作に係る真空ポンプの動作、停止を自動的に行い、揚水準備から運転の全域にいたる配管内部の状況を把握できる機能を有すること。

オ 非常時における真空ポンプ及びポンプ操作は、車体右側に設けられた別系統の手動操作装置で行えるものとする。

(4) 吸水口

吸水口は、ヨネ製呼称 75mm ボールコック (ストレーナー付) をポンプ室両側に各 1 個設け、75mm×10m 超軽量吸管を常時接続する構造とし、スイベル機構により、吸管のよじれ、折れ、キンクを防止できること。(通水確認窓及び連続呼水装置付)

(5) 放水口

ヨネ製呼称 65mm ボールコック付放水口をポンプ室両側に各 2 個設けること。

(6) 中継口

ヨネ製呼称 65mm ボールコック付中継口 (ストレーナー付) をポンプ室両側に各 1 個設けること。

5 無線機

(1) 現有車両に取付けている無線機をポンプ自動車に設置すること。なお配線、取付部品等の必要な材料は新規製品を使用すること。

(2) 無線機の取扱いにあたっては、無線機の保守業者と十分に協議を行い実施すること。

(3) 次に示す部品は、新規取付けとする。

ア 車外用スピーカー 1 個

イ マイク 1 個

ウ その他取付けに必要な材料

- (4) 無線電源の遮断方法は現有車両と同様にし、本体及びスイッチ類（主電源・外部切替）の取付け位置等については、発注者と協議の上実施すること。
- (5) オーバーヘッドに無線機本体を取付ける場合は、送受信器を分岐しフロントパネル内の適切な位置に配置すること。（別途協議）
- (6) 車内及び車外に設置するスピーカーの取付け位置等については、発注者と協議の上実施すること。
- (7) 車外に設置するスピーカーは、ON/OFF スイッチにより車内外で通信が傍受できる構造とし、ボデー右側面の適切な位置に専用ボックス（埋め込み型等）を設け収納すること。またマイクを同ボックス内に併せて収納すること。
- (8) 配線方法については、受注者がポンプ自動車の艤装段階で通線し、配線が露出することがないように処理を行い、貫通部分及び配線止めには緩衝材を用いて損傷を防止すること。また配線等を敷設する際は、損傷防止のため保護管等を使用すること。
- (9) 無線機の移設完了後に試験調整を行い正常な動作を確認し、任意の点検試験成績表を提出すること。

6 塗装及び記入文字

- (1) 車体塗装は、完全な防錆加工を施し、塗料（朱色）はVOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗装を使用すること。
- (2) 各種収納ボックスに塗装を施すこと。（別途協議）
- (3) アルミ縞鋼板使用部は、無塗装とすること。
- (4) 床及びポンプ室天井は、アルミ地色にクリアー塗装を施し、車体下回りは黒色塗装とすること。
- (5) 記入文字は、体裁よく配列すること。（耐久性のあるステッカー貼り可）書体、大きさ、位置については、別途指示する。
 - ア キャビン両側に「四国中央市消防団 川之江分団第2部」と、ゴシック体白文字で横書き（左読み）に貼り付けること。
 - イ 標識灯に「川之江2部」とゴシック体黒文字で左横書きに貼り付けること。
 - ウ 車体前部に「川之江2部」とゴシック体白文字で左横書きに貼り付けること。

7 検査

- (1) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。実施予定日及び実施場所については、おおむね2週間前までに発注者に連絡し調整すること。
 - ア 中間検査は、各装備品が仮設置できる時点で、以下の検査及び打合せを実施するものとする。なお同検査について、発注者が適当と認めた場合は、書類及び写真を提出することで代えることができる。
 - (ア) ポンプ自動車の外観及び性能
 - (イ) 各装備品の艤装及び積載状況
 - (ウ) 艤装の詳細について最終打合せ
 - イ 完成検査は、車両新規登録前に以下の検査を実施するものとする。

- (ア) ポンプ自動車の外観
- (イ) 各種装置の動作確認
- (ウ) 各装備品の艤装及び積載状況
- (エ) 中間検査時の指示事項に対する改善状況
- (オ) その他、発注者が必要とする検査

8 その他

- (1) 取付品及び取付装置は別表1、積載品及び付属品は別表2のとおりとする。
- (2) 納入時に、ポンプ自動車エンジン及び資機材収納庫等の鍵には名称札を取付けた上、メインキー、予備キーあわせて3組を納入すること。
- (3) 納入等
 - ア 所有者の住所 四国中央市三島宮川4丁目6番55号
氏名 四国中央市長
 - イ 使用の本拠の位置 四国中央市川之江町286-1
 - ウ 納入場所 四国中央市中曾根町500番地
四国中央市消防防災センター
- (4) 受注者は、納入後、現有車両を廃棄処分（永久抹消）すること。なお廃棄に要する費用は受注者の負担とし、登録事項等証明書を発注者へ提出すること。
- (5) 本仕様書に定めのない事項が生じたときは、発注者と受注者が協議し決定するものとする。

取付品及び取付装置

No.	品名	内容	個数
1	消防団章	フロントパネル中央部（樹脂製）	1 個
2	電子サイレン（警鐘入り）	大阪サイレン製 TSK-D152 相当品	1 式
3	散光式赤色警告灯	大阪サイレン製 NF-ML-XAKDM-HA2 相当品	1 式
4	標識灯	上分 1 部	1 式
5	前面赤色点滅灯	パトライト製 LP3-M1（赤色警光灯と連動）相当品	2 個
6	後面赤色点滅灯	パトライト製 LP5-M1（赤色警光灯と連動）相当品	2 個
7	多目的表示液晶ディスプレイ	メーカー標準（流量計及び積算計）	1 式
8	ポンプ圧力計	ポンプ室左右側板各 1 個（透過光照明灯付）	2 個
9	ポンプ連成計	ポンプ室左右側板各 1 個（透過光照明灯付）	2 個
10	側面作業灯	大阪サイレン製 LIA-200（保護枠付）相当品	2 個
11	照射灯（ポンプ室上部）	パトライト製 LP5-M1-W 相当品	1 個
12	計器灯	大阪サイレン製 LIA-W 相当品	1 式
13	サーチライト（伸縮式）	大阪サイレン製 DS35S・DS35F（保護枠付）相当品	2 個
14	マップランプ	フレキシブル式（LED）	1 個
15	後部座席室内灯	LED 室内灯	1 個
16	吊り下げフック		5 個
17	ドア開閉時反射シール	3M製（全ドア分）相当品	1 式
18	昇降用アルミ製足掛け	折畳み式	1 式
19	オイルパンヒーター	延長コード付	1 式
20	バッテリー充電管理装置	延長コード（10m）付	1 式
21	インバーター	1,000W以上（2口コンセント）車内/車外	1 式
22	後輪照明灯（保護枠付）		2 個
23	車幅灯	淡黄色または橙色	2 個
24	泥除けゴム	全輪	1 式
25	旗立装置	ステンレス製	2 個
26	予備タイヤ	シャシ固有（ホイール付）	1 式
27	タイヤチェーン	全輪	1 式
28	前後ドライブレコーダー		1 式
29	バックミラー型バックモニター		1 式

積載品及び付属品

No.	品 名	内 容	個数
1	吸管 75 mm×10m	超軽量吸管 NewLF-18	2 本
2	吸管ストレーナー		1 個
3	吸管ちりよけ籠	プラスチック製	1 個
4	消火栓金具	75mmメスネジ×65mm差込メス	4 個
5	ワンタッチ式吸管ストレーナー	ストレーナー及びちりよけ籠付	1 式
6	吸管ロープ	10mm×15m (1 本はワンタッチ金具付)	2 本
7	吸管枕木	ゴム製	2 個
8	吸管スパナ		2 丁
9	吸口ストレーナー		2 個
10	中継口ストレーナー		2 個
11	放口用媒介金具	65mmメスネジ×65mm差込オス	4 個
12	中継用媒介金具	75mmメスネジ×65mm差込メス	2 個
13	逆延長金具	65mm差込オス・オス 65mm差込メス・メス	1 式
14	双口接手	ヨネ製 (WB-65・65)	1 個
15	管鎗	PP65・EXS・L	2 本
16	可変噴霧ノズル	NV-65BX	2 個
17	ノズル (20 mm・26 mm)	AC製	各1個
18	消防用ホース	65mm×20m 耐圧1.3Mpa以上	9 本
19	ホース背負器	カバー付き	4 器
20	ホースブリッジ	CB-450	1 組
21	ホース漏水応急バンド	マジックテープ式	5 個
22	ジェットシューター	ハンドポンプ付き	3 器
23	とび口	樹脂柄 JAFCO 1.8m	2 本
24	スタンドパイプ	取付金具含む (1000mm)	1 本
25	消火栓等開閉金具	スピンドル用 (1200mm) 菊バルブ用 (1200mm)	各1本
26	マンホール開閉専用バール	日之出水道機器株 185型 相当品	1 本
27	梯子	二つ折り3.6m以上カギ付 (鋼管製)	1 脚
28	コードリール	30m (DC用差し込みコネクター)	1 個
29	三脚	自立式 (車載取付のサーチライト用)	1 脚
30	ポンプ工具	メーカー純正	1 式
31	剣先スコップ		1 本
32	ロードコーン	LEDライト付ハテ型伸縮 (折畳み式) 柵付	3 個
33	旗 (旗竿含む)	部旗・訓練・演習・出動	1 式
34	非常信号用具	三角表示板	1 個
35	消火器	自動車用ABC粉末20型	1 本
36	車輪止 (左右)	ゴム製	2 組